



中日新聞に掲載されました。

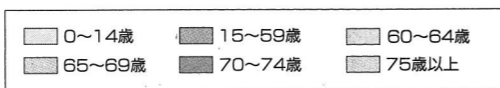
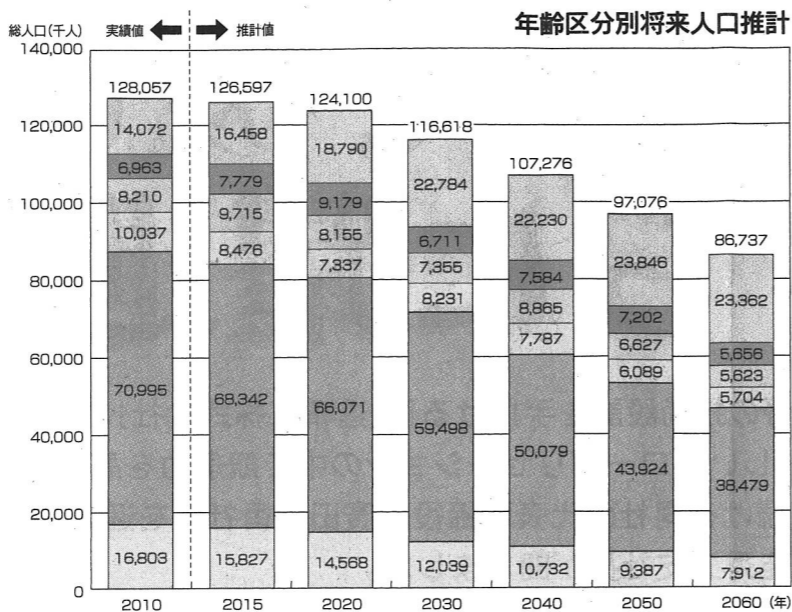
11月11日は介護の日

超高齢社会を支える介護の仕事

超高齢社会が進み、今後誰もが介護する人や、される側になる可能性は否定できません。健康で元気に生活していた高齢者が、突然介護が必要な日々になることは誰にも起こりうることです。しかし急速な高齢化に伴い、介護制度の問題点や介護する職員の不足などの課題は山積しています。

2042年に3800万人が高齢者

高齢社会が進む日本で、2012年には65歳以上の高齢者人口は過去最高の約3,000万人となり、総人口に占める割合は24.1%になりました。1947-49年に生まれたいわゆる「団塊の世代」が65歳になり始めたためであり、2020年には、人口の3割近くが65歳以上の高齢者になることが予測されています。その後も高齢者人口は増加を続け、2042年には、約3,800万人でピークを迎え、その後は減少すると推計されています。その高齢者を社会全体で

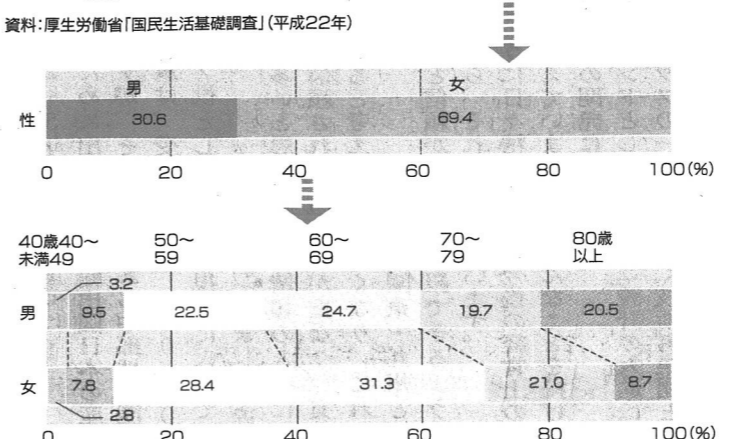
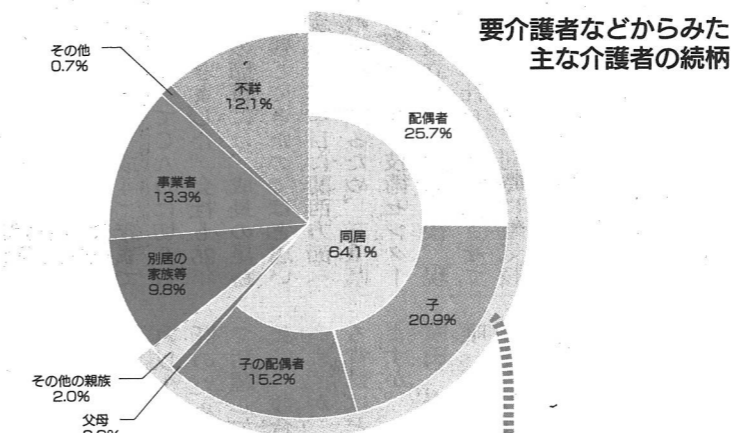


資料:2010年は総務省「国勢調査」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果
注)2010年の総数は年齢不詳を含む

多彩に広がる介護サービス

家族だけで支えきれない長い介護生活を本人や家族の経済的な負担や身体的な状況に応じて、介護保険制度を活用する介護サービス。主にケアマネージャーが作成した介護サービス計画に基づいて認定された介護度に応じて、さまざまなサービスが提供され、予算や必要なサービスを選択できます。介護サービスは原則として、かかった費用の1割を本人が負担します。施設などに入居した場合は、入居費用や食費のほか、使用する介護保険サービスの負担を支払わなければならない。

慢性的な入所待ちが続く特別養護老人ホームについて



(注)主な介護者の年齢不詳の者を含まない

2015年から「介護福祉士」に一本化

高齢者を介護する現場において、介護に携わる人たちは、常に高い専門性が求められます。これまでさまざまな資格で介護人材を確保してきましたが、2015年からは、介護福祉士として国家資格が必要になります。慢性的な介護士不足の背景には、教育体制の不備や賃金体系の低さなど医療側や経営側の不理解なども少なくありません。これまでのような介護サービス水準を維持しようとする場合、人材が必要とされるなか、国家資格制度は地位の向上

11月11日は介護の日 12月1・8日にイベント

岐阜県介護福祉士会は、毎年11月11日の介護の日を記念して「介護の日フェア」を開催しています。今年も12月1日にソフピアジャパンで介護福祉機器の展示を行います。最新の介護ロボットや寝たきりの人にも食べやすい介護食の実演や試食が行われます。介護福祉士による実践的なアドバイスや高齢者の身体感覚を体験する疑似体験コーナーなどもあります。



昨年介護の日フェアの様子

12月8日は岐阜県図書館で岐阜市の小笠原内科院長で日本在宅ホスピス協会会長の小笠原文雄さんの講演が行われます。小笠原院長は社会学者の上野千鶴子さんと共著「小笠原先生、ひとりで家で死ぬますか?」でも知られ、在宅緩和ケアのスペシャリストとして活躍しています。

両日とも入場無料。問い合わせは同会=電058(322)3971=へ。

介護の日に当たって



岐阜県介護福祉士会 会長 東海学院大学 健康福祉学部総合福祉学科講師 浅井 タツ子さん

皆さんは「介護の仕事」をどのように思っていますか。私は「生きる」を支える仕事、それが「介護」の仕事だと思っています。そこにはたくさんの感動と輝くような笑顔があります。そして、誰かの「生きる」を支える「やりがい」と「誇り」が、介護で働く人の大きな力になっています。その力は今日という日を支え、そして人々の明日の安心を築いています。

わが国の介護福祉士の登録数は118万4千人弱、そのうち岐阜県は1万9197人(9月末現在)が登録しています。国家資格である介護福祉士以外にも、ヘルパー資格や介護職員初任者研修受講済みの人など多様な資格者が介護に携わっています。一見、多くの人たちが就労しているように見える介護業界ですが、介護関係の8月末の有効求人倍率は2.54倍(全国1.85倍)、介護だけではなく、全業種の1.09倍と比較しても介護人材は大幅に不足していることが分かります。県内の介護の有効求人数は3,602人(全国187,351人)、求職者数1,418人(全国101,480人)、充足率16.9%(全国18.8%)、と岐阜県の介護人材不足は深刻です。介護が必要になって安心して暮らすことができる地域社会を目指すためには是非、多くの人に「介護」への理解を深めていただきたいと思います。

岐阜県介護福祉士会は昨年4月に法人化し、新しいスタートをしたばかりですが、本会は平成2年に全国に先駆けて専門職団体として発足し、まもなく25周年を迎えます。地域社会で介護のプラットフォームとしてその役割を担い、若い世代の憧れの職業となることを目指し、魅力ある資格として確立できるように皆さんとともに取り組んでいきたいと思っています。

そんな思いを伝えるイベントとして「介護の日フェア」は、介護の仕事の大切さと魅力を伝え理解を深めていただき「知る」「見る」「触れる」「考える」イベントとして介護の明日を見つける素敵な一日をご用意します。

広告